

謹賀新年 新型コロナの猛威が収まらないなか、新年を迎えました。

引き続き改憲阻止に向けて頑張りましょう。本年もどうぞよろしくお願ひします。



「山川異域 風月同天」

昨年の師走、ある青年団体主催の「大学生向け食料配布」行動に参加しました。コロナ禍で学生たちの生活もアルバイトの減少や親世代の収入減、オンライン授業で友達ができないなど厳しい状況を強いられています。学園都市駅の広場で行なわれた無料配布には70名余りの学生が集まり米やラーメン、レトルト食品などを持ち帰りました。

思えば、26年前の阪神大震災や今年10年目をむかえる東日本大地震、福島原発事故などがフラッシュバックしてきます。私たちは、この間災害は全ての人に降りかかるがその被害は社会的弱者にとりわけ過酷な影響を与えることを知らされてきました。

阪神大震災の2年後、50才だった私は、二重ローンで家を再建した時、近くには多くの高齢者の住む仮設住宅が何棟もならんでいたのを昨日のこのように思い出します。

コロナは、非正規、サービス業、シングルマザーや技能実習生など経済的弱者のいのちとくらしを直撃しています。自然災害もコロナも今の社会の歪みを更に拡大しているように思われてなりません。不平等な社会を変えなければ、これからも起きる災害に私たちは立ち向っていくことができないのではないのでしょうか。閉じ込められたような生活の中で、この先どの様な希望を見出ししていけばいいのでしょうか。

標題の漢詩は、昨年4月に「日本青少年育成協会」が武漢に医療物資を送ったときのメッセージです。1300年前日本から唐に贈られた袈裟に刺繍された漢詩で「鑑真」が来日するきっかけとなったものです。

(春日台 Y.O 記)

つどいのお知らせ

● 1月24日(日) 1月のつどい

西区文化センター地階音楽室 14:00~16:00

「中学生への平和教育」神戸市中学校教諭 山本優さん

※ 詳しくはチラシをご覧ください。

マスクの着用をお願いします。(参加費 300円)

● 2月21日(日) 2021年 総会

西区文化センター2階第3会議室 14:00~16:00

【私のなかの戦争】 ～戦争体験を語る(第2集)～ 出来上がりました!!

身近な方たちの証言は心を打つものがあります。ぜひ周りの方におすすめて下さい。



貴重な体験をお寄せくださった12名の方々に感謝いたします。編集委員の島田さん、西井さん、萩原さん、原さん、ありがとうございました。

(A5版 60頁) 1冊 300円

Act Now 1(イ千)の日行動 あなたもご参加を!

★毎月一回、西神中央駅前「改憲No! 九条壊すな!」のアピール行動を続けています。

★ 次回は **2月1日(月) 16:00~17:00**

早速、読んでいただいた方から、感想が寄せられました。皆様もぜひお読みになって、周りの方にも広げてください。

一冊 300 円です。

戦争体験記を読んで

12名の方々の貴重な貴重な体験記。一つ一つの記録が鮮明なことに驚かされ、お一人おひとりにとって、どれほど強烈な記憶だったのかと思わずにられません。

「先行きが分からないときは過去をうんと勉強すれば未来は見えてくる」

作家井上ひさし氏の言葉です。まさに今、日本の先行きが見えなく、危うくなっている時ではないでしょうか。過去をうんと勉強するための教科書のようなこの体験集は本当に貴重な記録の数々だと思います。直接お話を伺う機会がどんどん少なくなりつつある現在、この冊子の果たす役割はとても大きいと思います。

命を紙切れ一枚で奪う戦争の悲惨さ。他国の文化や言葉を葬り去る侵略の恐ろしさ。多くの人と出会い、気づき、学ぶ教育の力の素晴らしさ。

先輩の方々のこれらの声や思いを是非多くの方に届けたいと思うと共に、後輩の私たちの責任も強く感じました。（R.F）

SDGs（エスディーゼーズ）最近よく耳にしますよね。ネットで調べたら、

『SDGs（持続可能な開発目標）は国連サミットで採択され、2030年までに世界の全員で協力して17の目標、「貧困をなくそう」「人や国の不平等をなくそう」「気候変動に具体的な対策を」「平和と公正をすべての人に」等地球に住む全員関係があるといわれ、達成するためには、将来の世代によりよい地球を残そうとする政府、民間、市民社会そして市民によるパートナーシップが必要とされています。』とのことで「地球上の誰一人取り残さないこと」を誓っています。

気候変動対策を求めて活動する若者たちがつくるFridaysForFuture（FFF：未来のための金曜日）は「私たちに残された時間はない」と政府に本気の気候変動対策を求めています。SDGsの17の目標は、「個人でもできること、9条の会でできること、政府に求めること等みんなで考えて行動してね」と言われているようです。具体的にはネットに「SDGs目標別の個人・家庭でできる取り組みの例」等が紹介されています。

2021年を迎え、みなさんと一緒にアイデアを出し合い楽しく取り組めたらいいなと思います。SDGsや地球温暖化対策に関する思いや取り組み等をお寄せください。

neginokai9@yahoo.co.jp

に投稿お待ちしております。

ジョー句

除夜の鐘 ついた数より 多い嘘 (118回)
換気して ひとり暮らしが 風邪をひき (骨歩)

neginokai9@yahoo.co.jp

に投稿お待ちしております。



12/15
学園都市
駅の広場
で「大学
生向食料
配布」
行動

2021年1月 発行：西神ニュータウン9条の会

〔HP〕 <http://www.ne.jp/asahi/seishin/9jyonokai>

〔連絡先〕 TEL 090-3359-0776 (大西)



HPにリンク



トランプは去ったけれど…

見通せないアメリカの行方



核兵器禁止条約が発効する1月22日の前々日、任期切れとなったトランプ前アメリカ大統領がホワイトハウスを去った。大統領選は昨年11月に行われ、獲得選挙人の数からみてバイデン氏の勝利は明らかなのに、「選挙は不正だ」「票が盗まれた」などと、子どもじみた（子どもでも言わないだろう）駄々をこねた挙句、最後まで醜く大統領の座にしがみついたトランプ氏。

1月6日には狂信的なトランプ支持者が連邦議会に乱入し、死者まで出すという前代未聞の事件も発生、「議会をめざそう」と暴徒を煽ったとして、ツイッターアカウントも永久停止となった。

いま、表立ったトランプ氏の動きは報じられていないが、昨秋からのアメリカのこの大混乱を日本にいるわれわれはどう受け止めたらいいのだろうか？トランプ同様「選挙は不正だ」と言うネトウヨや一部信者がいるが、なんやかや言ってもアメリカは民主主義の国だから、と傍観しているわけにはいかなかった。トランプが大統領に選ばれた、という5年前も驚きだったが、わが国でも同様の、トランプのような「強いメッセージを発するリーダー」を望む空気が出始めている。どの程度かわからないが、コロナ禍における大阪の吉村知事のパフォーマンスなどがそれである。

なぜこのような動きが広がるのだろうか？一つにはメディアの弱体化があると思う。ほとんど政府広報になってしまった記者会見、突っ込まないジャーナリズム。加えてインターネットの情報、SNSの広がりでの自分の好みにあった情報しか触れなくなる傾向。私たち一人ひとりが、絶えず情報を疑ってかかって、ファクトチェックをしなければ、いとも簡単にフェイクニュースを信じてしまう。そんなことにならないよう、絶えず情報をチェックしなければ…とアメリカの現実を見て思う。

(美賀多台 川崎)

お知らせ

- 2月21日(日) 2021年 総会 西区文化センター2階第3会議室 14:00~
- 3月14日(日) 3月のつどい 西区文化センター2階第2会議室 14:00~
※ 総会、つどいの予定はコロナ感染状況で中止、延期の場合もあります。
ホームページでお知らせします。よろしくご了承下さい。
- 4月24日(土) 13回記念のつどい 西区文化センターなでしこホール 13:30~

Act Now 1(イ千)の日行動 あなたもご参加を!

★毎月一回、西神中央駅前「改憲No!九条壊すな!」のアピール行動を続けています。

★次回は**3月1日(月) 16:00~17:00**の予定

(コロナ感染状況で中止もあります)

西神中央文化芸術ホール開設にむけて

ワークショップ開かれる

昨年暮れ、再来年のホール開設に向けてのワークショップが、(株)シアター・ワークショップの手で行われた。会場は、なでしこホールの椅子をすべて取り払った平場に、6人が座るテーブル4か所つくって、新ホールの管理運営を考えるワークショップ。若い青年たちが司会やテーブルごとのリーダーをつとめた。

最初に、会社の自己紹介があり、「劇場・ホールの管理運営って？」について話し合われた。私のテーブルは5人全て40、50代の女性たちであった。話し合いの進め方として「恥ずかしがらずに」「自分と違った意見を”それもあつね”と否定しない」等々を約束しあって、付箋にどんどん書いていく。それに基づいての話し合いは活発で、多様でユニークで面白い。

西区特性の農家との結びつき、工業団地の企業との連携、さらに地下鉄・バス等の公共料金をホール料金として安く等々全く多彩であった。

こんなにも若い女性たちがホール（文化・芸術）への関心が高いとは想像していなかった。この高さは、豊かに人間らしく生きたい、あるいは子供や孫たちに素敵な文化に出合っしてほしいという、平和を願う思いだろうと嬉しくなった。

私たちの会もこのような人たちとの繋がりを探り出して、平和な街づくりを目指したい。（次回は、「みんなのための使用ルールを考える」2月20日） たけし

核なき未来を

NO NUKES FUTURE

1月22日国連において50ヶ国・地域の批准により「核兵器禁止条約」が発効しました。

アメリカ、ロシア、中国など核兵器を所有する国や核の傘にいる日本などは参加していませんが、今後核兵器の使用や保有が条約違反であり非人道的なものとして扱われることとなります。

そしてこの「核兵器禁止条約」は、唯一の被爆国であり非武装中立の平和憲法をもつ日本の内実を問うものになります。

2021年度 総会のご案内

2月21日（日）14時から西区文化センター第3会議室で今年度の総会を開催します。昨年来、当会もコロナの影響で「記念のつどい」の中止や各種活動に制約を受けています。今総会では、この状況が継続する事を考慮して今後の会の活動をどの様に進めていけばいいのかを話し合いたいと考えています。みなさんのご参加をお待ちしています。（事務局・大西）

ジョー句

この頃は「金（カネ）の卵」と言うらしい
（アキタフーズ）
渡れない 三途の川と 歩道橋（骨歩）

neginokai9@yahoo.co.jp

に投稿お待ちしております。

2021年2月 発行：西神ニュータウン9条の会

〔HP〕 <http://www.ne.jp/asahi/seishin/9jyonokai>

〔連絡先〕 TEL 090-3359-0776（大西）



HPにリンク



ジェンダー問題で考えたこと

日本ではあまり知られていないが3月8日は国連も認める『国際女性デー』で世界では半日～1日祝日になっている国が多い。『建国記念の日』を休日にするならむしろこの日を休日にしてほしいと常々願っている。戦前袖の袂にかくして獄中から「国際婦人デー万歳！」とビラをまいた逸話を聞いた。私たちはその先輩たちのお陰で戦後参政権を得、大学も共学になった。1979年『女子差別撤廃条約』が国連で成立したが、日本がこれを批准し同時に『男女雇用機会均等法』ができるまでに6年かかった。今でも結婚を機に退職し、子育て後に再就職するパターンは変わっていない。男性の賃金も低いけど女性は依然として男性賃金の70%前後だ。今回の森オリパラ会長発言「女性は話が長い、時間を制限する必要がある云々」のあと私の友人は「均等法施行前に一般企業に入社したので、男性並みに認められるためには何倍も努力し、優秀でなければならず、必要以上に気負っていた。逆に出世に向かず経済力のない男性は、それを強いられ苦しんできたと思う。」とメールをしてきた。そう『男は男らしく女は女らしく』と決めつけることで男性も苦しんできたのだ。彼女は認知症の母の看病をする為に管理職を早期退職し今に至っている。今一人外資系企業を40代でやめ母が亡くなるまで30年間世話をした友人がいる。政府は2030年までに指導的地位の女性の割合を30%にする目標を掲げているようだが、「いや50%にするべきでしょう。なぜなら半分は女性なのだから。」

ジェンダー平等はなぜ必要かと言うと誰もがもっと生きやすい世の中をつくるため」と京都精華大の赤田ちかこ先生は明快に話された。多様な性や人種差別や人権をつきつめると必ず政治の問題につきあつてくる。国連が提唱するSDGs（持続可能な開発目標）も生きとし生けるものすべてが大事にされ、平和で住みやすい持続可能な地球にして行こうと言う事ではないか。

(Heidi)

分野	ギャップ指数	順位
政治	0.049	144位
経済	0.598	115位
教育	0.983	91位
健康	0.979	40位
総合	0.652	121位

「ジェンダー・ギャップ指数」
世界経済フォーラム発表

お知らせ

●4月24日(土) 13回記念のつどい 西区文化センター2階なでしこホール

講演 「人間力こそが戦争を抑止する力」

池内 了 名古屋大学名誉教授・宇宙物理学者

～オープニング～ 李 亜輝&アジサイ合奏団による二胡演奏

開場 13:00

開演 13:30

参加費 1000円

(前売り 800円)

●5月3日 憲法集会 東遊園地 14:00～ ウェブ配信も実施。

※ 3月のつどいはありません

Act Now 1(イチ)の日行動 あなたもご参加を!

★毎月一回、西神中央駅前「改憲No!九条壊すな!」のアピール行動を続けています。

★次回は4月1日(木) 16:00～17:00の予定

(コロナ感染状況で中止することもあります)

コロナ禍での学生の生活実態は？

先日、テレビで学生が学業と生活に困難な状況にあることが放映されました。

私も実態を知りたいと思っていたところ、青年団体が学園都市で食料支援のボランティアを募集していたので、これに参加しました。

2月9日14時から16時まで学園都市駅前で、米、ラーメンほか多くの支援物資を並べて学生に配布しました。60人ほどが支援物資を受け取り、アンケートに答えていました。

アンケートによると、対象者は学園都市にある大学(6)の学生が88.9%でした。

質問として、

- ① 「収入の状況は？」→減少した・無収入が82.6%。その理由のほとんどが、バイトのシフトの減少とバイトの減少で、また、バイト先の休業もありました。
- ② 「コロナ危機による影響は？」(複数回答)→食費などを削っている72.2%、留学に行けない36.1%で、この「留学」には時代の違いを感じさせられました。
- ③ 「大学の施設の利用制限の影響は？」(複数回答)→オンライン授業で課題が増えた78.1%、部活に支障がある66.6%、教師・友だちとの対話ができない52.0%がその主な内容でした。

学生たちはコロナ禍の中で「自助」の対応を行っており、「公助」は一体どこにあるのかと怒りを感じた「共助」のボランティア活動でした。

最近、技能実習生さん(?)もよく見かけますが困っていないかな? 気になりますねえ。

2021年度

総会が開かれました

2月21日(日)14時から西区文化センターで総会が開催され、19名が出席しました。

1. 会計・監査

2020年度の会計・監査が報告され承認されました。21年度繰越はほぼ前年度並み

2. 振り返り

20年度の当会の活動は、コロナの影響を受け、記念のつどいの延期、月のつどいの中止など制約の多い1年でした。

一方HPやNEWS、運営委員会は定期的に実施し署名活動では「辺野古請願署名」に取り組みました。また「戦争体験集」(第2号)を発刊しました。

3. 今年度の取り組み

出席者から次の提案があり今後の取り組みに反映することとなりました。

- ・オンライン講演とリアル集会の併設を
- ・政治テーマ以外にジェンダー、SDGS、温暖化や生活に密着したテーマも
- ・地域の身近なテーマ・話題の発信も
- ・FB、ブログの利用も
- ・若い人、現役世代への呼びかけが必要

(事務局) 大西

ジョー旬

嘘つきが コロナに負けじと 蔓延中 (空耳)
一目ぼれ 今はかすんで 白内障 (骨歩)

neginokai9@yahoo.co.jp

に投稿お待ちしております。

2021年3月発行：西神ニュータウン9条の会

HPにリンク

[HP] <http://www.ne.jp/asahi/seishin/9jyonokai>

[連絡先] TEL 090-3359-0776 (大西)



記念のつどい「宇宙の先生、平和をかたる」、今年こそ!

昨春、コロナ禍で中止となった池内了先生の講演会ですが、来る4月24日(土)にご講演戴けることになりました。「人間力こそが戦争を抑止するちから〜ピカソで平和を築こう〜」という80分のご講演で、意見交換のお時間も20分戴いております。

池内先生は著名な宇宙物理学者ですが、最近、宇宙の謎が幾つも解けてきたそうです。「巨大ブラックホール」が撮影されたり、太陽系の外でも「地球型の惑星」が見つかったり。でも、著書「宇宙をあやつるダークマター」によれば、渦巻き銀河が美しい姿を保つには、普通の物質だけでは全然足りなくて、未知の物質が作用しているはずだと・・・皮肉にも、人間は「宇宙の営み」のほんの一部しか解っていないことも解ってきたんですね。

一方、先生は「人の営み」についても多くの本を書かれています。科学研究が智の公共財であり、国民がスポンサーであることから、科学の「光と影」を国民に分かりやすく説明することを科学者の使命とされています。科学がまだ明快に答えられない悩ましい問題に対しては、判らないことを謙虚に受け留め、勇気をもって一旦立ち止まる「予防措置原則」を早くから提唱されてきました。また、著書「科学者は、なぜ軍事研究に手を染めてはいけないか」では大学や科学者が予算に釣られて再び軍事研究に動員されないよう警鐘を鳴らされています。そして、豊かな文化こそ平和の礎との湯川博士の遺訓を引き継がれ、「世界平和アピール7人委員会」の委員、「九条の会」の世話人も務められています。

思えば、今、我々を惨々に苦しめているコロナウイルスは、世界で年200兆円もの軍事費、自慢の核兵器やミサイルが尻のツッパリにもならないことをあざ笑っているようで、先生のかねてからの主張「軍事力よりも人間の安全保障を最優先した人間力」がますます現実味を帯びてきています。今年こそは、池内先生のお話を聴いて宇宙の神秘やピカソの話に想像力を膨らませながら、地上の平和の有難さについてみんなで考えてみませんか。心よりご来場をお待ちしております。

(竹の台 西元)



●4月24日(土) 13回記念のつどい

- 5月3日 憲法集会 東遊園地 14:00~
 <メインスピーカー> 芦名定道さん
 芦名さんは学術会議の任命拒否されたお一人です。

※憲法を活かす1万人意見広告運動にご参加を!
 申し込みは折込みチラシの振込用紙か、
 市原(090-1586-6974)までお願いします。
 1口1,000円、申込み受付は4月17日までです。

●5月16日(日) 5月のつどい

- 「日米地位協定と沖縄・辺野古」(仮題)
 講師 松竹伸幸さん
 西区文化センター2階第3会議室 参加費 300円

神戸市議会で「辺野古意見書を採択」
 皆さんにご協力を頂きました「辺野古署名」が3月
 26日神戸市議会で意見書として採択されました。
 詳細は後日報告させていただきます。

Act Now 1(イ千)の日行動 あなたもご参加を!

★毎月一回、西神中央駅前「改憲No!九条壊すな!」のアピール行動を続けています。

★次回は5月1日(土) 16:00~17:00の予定(コロナ感染状況で変更もあります)

春の訪れ…二胡の調べにのせて

つどいのオープニングでご出演いただき、
アジサイ合奏団からメッセージを頂きました

アジサイ合奏団は、二胡奏者李亜輝氏の指導のもと、二胡を中心とする中国楽器の演奏を2013年から行っています。神戸を中心に関西で、施設や病院、各種イベントで異文化交流や地域貢献を目的とした演奏活動を続けてきました。活動を通してたくさんの人との出会いがあり、二胡の美しい音色を知っていただくことで私達は活動に喜びを感じています。

昨年はコロナ禍においてイベント中止が相次ぎ、団員が集まった練習にも制限が加わりました。画面越しでも合奏をしたいという思いから、リモート合奏をすべく、私達は各自慣れない動画撮影をしてYoutubeに合奏動画を投稿しました。今年1月には、神戸の復興の歌である「しあわせ運べるように」を合奏するという念願が叶い、Youtubeにも投稿しています。

この度のコンサートは、昨年の予定が延期になり、私達にとっても1年ぶりの、皆さんの前での演奏です。演奏できる喜びを込めて奏でたいと楽しみにしています。演奏させていただく曲は、「日本の春の曲をメドレーにしたオリジナル曲」「春景」「彩雲追月(中国曲)」歌謡曲からは「少年時代」と「昴」、最後に「夜来香」の6曲を合奏で、また李亜輝先生の独奏も予定しています。

二胡の優しい音色を皆様にお届けできますよう、ご来場をお待ちしております。

私のなかの戦争

～戦争体験を語る会～ (報告)

3月27日(土) 学園都市のユニティで“9条の会がくえん”主催による「戦争体験を語る会」が開催されました。当会で発行した「私のなかの戦争」に寄稿されている大西典子さん(学園東町)、白井博美さん(伊川谷町)が語り部として話をされました。参加者は16名でした。

白井さんからは、当時国民学校1年生だったので、父親からのカタカナで書かれた葉書や遺書などの遺品を見せながら話をされました。また、大西さんは当時4歳でしたが、空襲を受けて亡くなった(戸板で運ばれた)母親の顔は忘れられないと声を詰まらせていました。

参加者からは、戦争体験を文章などでみることは多いが、遺品や体験者の生の声を聴くことで、実感が全然違う。団塊の世代であるが、生前、親から戦争のことを聞いていなかったのが悔やまれる。戦争体験を語り継ぐ方がいなくなっているのでは、時間がない。もっと若い人への継承に取り組まなければならない。戦争放棄の憲法9条の意義を広げよう等、多くの意見が出されました。なお、大西さんのお姉さんが学園都市の小学校で戦争体験の「語り部」をしているので、冊子「戦争体験記」を学校に渡していただくことになりました。

また、当会でも6月か7月に「戦争体験を聴く会」を計画しています。

ジョー
句

答弁の マスクで見えぬ 二枚舌 (現妻)
7万円 月の食費と 聞き違え (山田広報官)
neginokai9@yahoo.co.jp
に投稿お待ちしております。



2021年4月 発行：西神ニュータウン9条の会

[HP] <http://www.ne.jp/asahi/seishin/9jyonokai>

[連絡先] TEL 090-3359-0776 (大西)

HPにリンク



私的「公務労働と憲法」

この4月から職員証がありません。同じ職場で同じ仕事同じ勤務時間ですが、2度目の退職で1年雇用の短時間勤務会計年度任用職員、身分が変わりました。

簡単に雇用条件やサービスの説明を受け、改めて新規採用時と同様に地方公務員法31条に基づく宣誓書に署名しました。そこには「憲法の尊重、擁護」と「全体の奉仕者として誠実且つ公正に職務を執行」を「固く誓います」とあります。ところがその説明文には、憲法という文字がありません。くどくどと法令や上司の命令に従う義務を書いています。根本である憲法については一言の説明もありません。

令和になって「神戸市クレド（神戸市職員の志）」なるものが決められました。HPでも紹介されています。「どんなときも市民目線」「圧倒的な当事者意識」「果敢にチャレンジ」が核心です。「市民のニーズ、時代や社会の変化への対応」し、一人ひとりが「主体的に考え、適切かつ迅速な意思決定」する物差しだといいます。

ここでも憲法は出てきません。護憲運動が嫌いな久元市長に付度しているのか、と疑います。

住民自治を豊かに

現役時代はもっぱら都市計画の職場です。最初は道路工事を担当し土木技術を勉強しました。それが都市計画の目的や地域住民の権利等へと視野を広げていくと憲法に立ち返り考えるようになりました。

最後の仕事は、道路などが不足している密集市街地の再整備でした。狭い私道が多く、行き止まりや階段もあり、建て替えも進まず、老朽家屋が多い地域です。まちづくり協議会、地権者、専門家、市と一緒に考えて、少しずつ安全で住みよい街に整備する事業です。手間がかかり、計画的に進むこともなく不十分なままで定年退職を迎えました。今年の4月、かつて担当していた地域から「小規模でするから」と、まちなか防災空地の花見に呼ばれました。そこで愚痴を聞きました。「あなたの後輩は地元、現場にあまり来ない」という不満です。「すぐに答えは求めないけれども一緒に考える姿勢が見えない」といわれました。

憲法の地方自治の基本は住民自治で、まちづくりが計画高権から住民自治へと変化してきました。それは市民目線ではなく憲法目線です。

(美賀多台 つだわたる)

第13回記念のつどい(4/25)に

150人を超える方が参加して下さいました。二度の延期をし、皆様のご協力のおかげで、やっと開催することができました。ありがとうございました。(裏面に感想文を掲載)

お知らせ

●5月16日(日) 5月のつどい

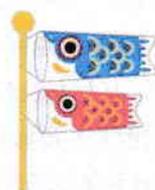
「日米地位協定と沖縄・辺野古」

講師 松竹伸幸さん

西区文化センター 2階第3会議室 14:00~16:00

参加費 300円

※コロナ感染状況で中止することもありますので
運営委員にお確かめ下さい。



6月のつどい(予定)

6月19日(土)

西区文化センター2階
第1会議室 (内容未定)

5.3 憲法集会は11月3日
に延期されました。

Act Now 1(イ千)の日行動 あなたもご参加を!

★毎月一回、西神中央駅前「改憲No!九条壊すな!」のアピール行動を続けています。

★次回は6月1日(火) 16:00~17:00の予定(コロナ感染状況で中止もあります)

宇宙の先生、平和をかたる

「人間力」こそが戦争を抑止するカーピカソで平和を築こう

名古屋大学名誉教授・宇宙物理学者 池内了先生の講演会が4月24日(土)に開催されました。昨年予定していたもののコロナ禍で延期になり、今回も明日から緊急事態宣言と言うギリギリの日程で規模も縮小しての開催となりました。オープニングでの「李 亜輝&アジサイ合奏団の調べ」では美しい二胡の音色と共に私達のよく知っている曲目も沢山あって心に染み渡る演奏でした。

池内先生は、それまでは地球から宇宙を見ていたが、1995年頃からは宇宙から地球を見るようにしようと考えたと話され、まずはハヤブサ、ブラックホール、ダークマターなど興味深い宇宙の話をつかりやすく説明されました。

さて一方人間界はコロナ禍の中でも戦争をしたい勢力は何を理由にしても軍拡を煽ろうとしています。

コロナ禍を「国民が一致団結しないと克服出来ない」と戦争や国難に例えたがりますが、新型コロナウイルスには核兵器もミサイルも無意味である、むしろ予防措置原則に基づき世界中がワクチンの作成と接種に協力しなければならないのです。

池内先生は戦争は「ほぼ」終焉している、人類は知的に進歩していると言う自信を持つと言われます。

歴史の中で1791年フランス憲法第6篇「征服目的の戦争を行わない、武力を人民の自由に対して用いない」1919年国際連盟規約、1945年国際連合「戦争の違法化の徹底」と言う世界史の流れの中で1946年日本国憲法-戦争の放棄・戦力不保持・交戦権否認-第9条の成立がありました。しかし現実には今も学問の自由に対して、自衛のための軍事研究は許されるのではないかと言う世論があります。

先生はガンジーの言葉を引用して「人格なき学問、人間性が欠けた学術に、どんな意味があろうか」人間力による抑止を！と言われています。また「憲法の趣旨は、国家間の紛争や意見の対立・不同意・齟齬などがあれば、交渉・話し合い・説得などの外交的手段と国民間の友好的交流を通じて平和をたもつことにある」それが真の抑止力である、と池内先生は話されました。最後に月から見た地球が写し出されました。生命を育む沢山の水に覆われたかけがいのない地球を守りましょう、と。(井吹台 ふう)

3月神戸市議会で

「辺野古意見書」が採択

3月26日神戸市議会で「辺野古新基地建設についての意見書」が、自公議員を含む56名(定数68)の賛成多数で可決されました。政令都市では初めてとなる意見書は、首相、防衛相などに提出され「日本政府は、基地問題と共に歴史を重ねてきた沖縄県民の思いにしっかりと応え辺野古基地を始め諸問題解決のために沖縄県と更に粘り強く対話を深める」ことを求めるものです。

今回の意見書は当会も参加する「神戸市会への辺野古請願署名実行委員会」が進めてきた活動により実現したもので約1万余筆の署名と共に陳情されました。

辺野古は沖縄だけの問題ではなく私たちにも深く関わっていることを地元議会から発信できたことは有意義であったと思います。神戸・朝日のほか沖縄タイムスなどでも記事として掲載されました。

しかし政府は現在も辺野古米軍基地建設を中断することもなく強行しています。4月の日米首脳会談では「日米同盟強化」が叫ばれ、「辺野古」の先行きは厳しいものがあります。今後も沖縄と連帯しながらアジア平和に向けた取り組みが迫られています。(春日台 Y.O)

ジョー句

津々浦へ 消えいく聖火 持ち回り

(現妻)

おにぎりを 食べて出かける 回る寿司

(骨歩)

neginokai9@yahoo.co.jp

に投稿お待ちしております。

2021年5月発行：西神ニュータウン9条の会

[HP] <http://www.ne.jp/asahi/seishin/9jyonokai>

[連絡先] TEL 090-3359-0776 (大西)



分かりやすいお話 胸にストーンとおちました

日本国憲法の素晴らしさ認識しました

「第13回記念のつどい」—池内了さんのお話—アジサイ合奏団の演奏 40通の感想文より

- 親しみやすく平易な語り口でわかりやすかった
- 最近、平和について考えていなかったので勉強になりました。
- 人間力により、安全安心を守る、それが真の抑止力である。戦争のない地球に住みたい、平和を望みます。
- 分かりやすいお話でした。歴史的に見ても日本国憲法の素晴らしさを認識しました。
- 生命がいる人間が生まれたこの地球を壊さないために！感動しました。
- 軍は命を奪う。警察は命を守る。この違いがわかりやすかった。
- コロナに振り回されている間に、大事なことを忘れていたのでは思い知らされました。
- ピカソで平和…まさに！納得
- 西神NT9条の会の記念の集いは、いつも良い企画プログラムですね！
- コロナ対策、スタッフの方ご苦労様です。早く9条の会でバス旅行できる日を楽しみに
- 最後の方、時間がなく端折られましたがもう少しゆっくり聞きたい思いでした。
- …内容が広く浅くの話になったのは残念でした。…ロケットが地球の周りのゴミ（宇宙デブを残す環境汚染になっている事…日本の防衛費が借金で賄われている事…等々。

春らしい素晴らしい音色の曲。ピンク、赤、黄色の全体の配色も素敵

- ♪心にしみる。知っている曲ばかりで感激しました。
- ♪心が洗われる思いでした。今、戦争で苦しんでいる人に届けてあげたいです。
- ♪演奏、素晴らしかったです。コロナ、緊急事態と不安、緊張の日々が続く中、一時忘れてた心ゆったりしました。
- ♪中国人の先生と日本人のメンバーと一緒に中国と日本の曲を中国楽器で演奏する…中日友好を体現するメロデーに平和を聴きました。
- ♪コロナ禍で窮屈な生活をし、心が縮かんでいましたが感動して、涙が出そうになりました。



お知らせ

- 6月19日(土) 6月のつどい
「中学生への平和教育」
講師 山本優さん(神戸市立中学校教諭)
西区文化センター 2階第1会議室
14:00~16:00 (参加費 300円)
※詳しくはチラシをご覧ください。

- 7月11日(日) 7月のつどい
「国民投票法」について
講師 吉江^{きみこ}仁子弁護士
西区文化センター2階第3会議室
14:00~16:00
参加費 300円

Act Now 1(イ千)の日行動 あなたもご参加を!

★毎月一回、西神中央駅前「改憲No!九条壊すな!」のアピール行動を続けています。

★次回は7月1日(木) 16:00~17:00の予定(コロナ感染状況で中止もあります)

東京オリンピック開催の中止を！

開催まで2か月を切った東京オリンピック。菅首相は5/21の記者会見で「感染防止措置に万全を尽くしたうえで、安全・安心の大会をしていきたい」と答弁していた。マスコミの世論調査では、中止か延期の意見が7~8割に及ぶ。五輪開催となれば海外から日本に選手団、大会関係者など9万人超が押しよせる。海外メディアからもオリンピック開催に疑念が投げかけられている。「五輪を『変異株の祭典』にしてしまい、感染を加速させる」(仏ル・モンド紙)。

日本の報道番組でも開催への疑問が取り上げられていた(5/15 TBS系「報道特集」)。番組では医療崩壊に瀕している病院が、沿道の窓に「医療は限界、五輪はやめて！」というスローガンを掲げていた。

こうした世論の声を無視して菅首相がオリンピック開催になぜこだわるのか？高額な賠償金支払いを避けるため？それとも政権浮揚のため？近頃余り言わなくなった復興五輪を目指すため？

新型コロナ感染の収束が見通せない現段階において、オリンピックを強引に開催するのは、戦前の日本軍隊の特攻作戦と同様に、国民に感染拡大という多大な犠牲をもたらす恐れがある。IOCパッハ会長の開催強硬論に対して科学的根拠をもって反論をして、日本政府の自主的判断で一刻も早く中止の決定をしてほしい。(竹の台 本田 M)

ジョー旬

「大喰い」を そつと視ている カップ麺 (現妻)
「それでは」と言ってから長電話 (骨歩)
neginokai9@yahoo.co.jp に投稿お待ちしております。

2021年6月発行：西神ニュータウン9条の会 [HP]

<http://www.ne.jp/asahi/seishin/9jyonokai>

[連絡先] TEL 090-3359-0776 (大西)

気になるワクチン

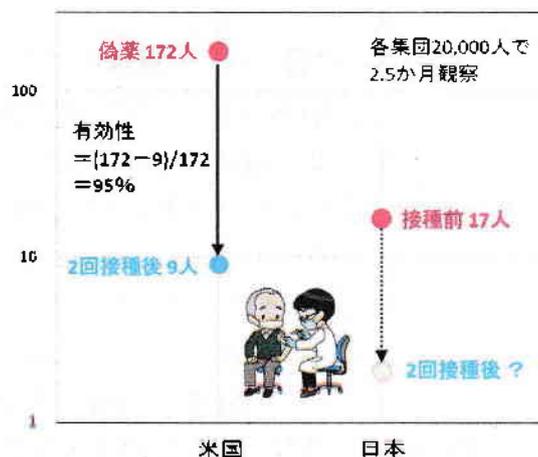
神戸でも医療従事者、高齢者から接種が始まりましたが、日本の進捗は後進国以下でお寒い限りです。分刻みで列車を運行する几帳面な国民性、「安全・安心の五輪」が控えているのに、なぜこの体たらくなのでしょう？

それはさて置き「ワクチンの有効性95%」とは、「100人が接種したら95人は感染しない」と思っている方が多いですが、これは勘違いです。ファイザーの95%有効性を確認した治験では下図の通り、米国で2万人にワクチンを2回接種し、偽薬(ワクチンなし)の2万人と2.5か月間、比較しました。結果、ワクチンを打つことで172人の感染者が9人に、つまり95%減少したという意味です。

これはすごい効果ですが、日本ではワクチンを打たなくても、元々、感染者は2万人で17人(つまり100人で0.1人)程度なんです。従って、諸外国に比べれば、ワクチンの予約に殺到するほど焦る必要もなく、淡々と予約して粛々と接種することですね。僕たちは阪神大震災の時、支援物資はへたに奪い合いをせず、整然と待つのが一番早く皆に行き渡るといふ貴重な経験をしましたから。

一方、米国での感染の多さから分かるように、諸外国の感染状況は半端なく、五輪での10万単位の入国は「新たな変異種」蔓延のハイリスクを伴います。副反応含め気になるワクチン、空気に流されず、自分の頭で冷静に考え、行動することが肝要ですね。(竹の台 西元)

ワクチンの有効性とは？



ミャンマー
に思う

2021年2月1日、コロナウィルスで混乱する中、ミャンマー国軍によるクーデターがおこり、世界に衝撃が走りました。アウンサンスーチー国家顧問など与党の要人が拘束されました。市民は、デモ行進し、「軍事政権にはもどらない」と抗議しました。それに対して、軍は市民に発砲し、5月末時点で約800名の死者が出ていると報道されています。ミャンマーは、人口5000万人に40万の国軍を擁しています。

2008年の新憲法制定で、国軍は国会の議席の4分の1を軍人が占めること、国防相や内相といった治安に関わる閣僚は、軍の司令官が任命することを決めています。ミャンマーでは、1962年の軍事クーデター以降、軍事政権が続いていましたが、2015年の選挙でスーチーさん率いるNLD(国民民主連盟)が圧勝し、2016年にはNLD政権が誕生。2020年の選挙でも、ロヒンギャ難民問題があったにもかかわらず、NLDが圧勝したのです。2月1日には初めての議会が行われる日でした。私は、3年前のNHKの放送で「良心の囚人」という題で講演したマ・ティーダさんへのインタビューを見ました。その話に強く心を動かされました。

マ・ティーダさんは、ミャンマーの人権活動家であり、医師・作家です。1988年からの民主化闘争に加わり、1993年逮捕され、6年近く独房に1999年釈放。2017年来日し、上智大学で講演し独房の中で、重い病気になりながらも瞑想をとおして、自分と向き合い、刑務所にいても、「自分が自由を放棄しないかぎり、誰も自分の自由を奪うことは出来ない」と気づいたそうです。また、刑務所内での横領など不当なことは許さず闘ったという話のほか、「ミャンマーでは、民主主義の訳語はない。人々は、民主主義と自由を区別することができない。人々は、自由を味わったことも、自由を行使する権利をもったこともない。ミャンマーという国が民主化していくには、結局、一人ひとりが自立することだ。自分の頭で考え行動することだ。無知が一番危険なことだ」と話をしていました。(今から4年前の話です)

ミャンマーでは、マ・ティーダさんも闘った1988年からの民主化運動を軍は徹底的に弾圧してきました。私は、自由と人権こそが民主化にとって一番大事なことだと立ち上がるミャンマーの市民に連帯したいと思います。日本の国会でも、6月8日と11日クーデター非難と民主的体制を求める決議が採択されました。日本をはじめ、国際社会の働きかけを切望します。

(狩場台 角屋克子)

●7月11日(日) 7月のつどい

「国民投票法について」 講師 吉江仁子^{きみこ}弁護士

西区文化センター2階第3会議室

14:00~16:00 参加費 300円

憲法改正の手続きを定めた国民投票法の改正案が6月の国会で可決されました。その内容、問題点について吉江弁護士にお聞きしましょう。

※ くわしくはチラシをご覧ください。

●8月22日(日) 8月のつどい

「戦争体験を聞く会」

西区文化センター2階第3会議室

14:00~16:00 参加費 300円

「私のなかの戦争」第2集に体験をお寄せ下さった川端泰子さんをはじめ数人の方にお話を聞きます。



アジサイ合奏団セタコンサートのお知らせ

7月4日(日) AM11:00~12:00(雨天の時11日) 相楽園

お詫びと訂正 前月号表面の(40通の感想文)の最後の行(宇宙デブ)は(宇宙デブリ)の誤りでした

Act Now 1(イ千)の日行動 あなたもご参加を!

★毎月一回、西神中央駅前「改憲No!九条壊すな!」のアピール行動を続けています。

★ 次回は8月1日(日) 16:00~17:00の予定(コロナ感染状況で変更もあります)

6月のつどい

「中学生への平和教育」(報告)

6月19日25名の出席で開催されました。講師は、現役中学教員の山本さんで、長く平和教育に携わっています。中学校での授業や校外学習を通しての多くの平和教育の取り組みを紹介されました。沖縄、長崎、広島などへの修学旅行や立命館平和ミュージアム、火垂の墓、神戸市内の戦跡めぐりまた授業では神戸大空襲、原爆、毒ガス、米軍基地などに取り組んできました。

中学の3年間で戦争や平和について体系的に学べる工夫をしながら、生徒たちが学び知ることによってこれからの時代の平和を自分で考える人であって欲しいと強調されます。また教え子が先生となり平和教育を実践していることに大きな希望を見出すと言います。

今後は自らも平和を学びながら若い先生方の平和教育をサポートしていきたい。そして平和を願う人たちを繋ぐ「神戸平和ネットワーク」を作りたいと熱く語られました。

質問では、「加害責任をどの様に伝えるのか」「教科書検定」「戦争体験の継承」などが出されました。

今回の「つどい」は地域で活躍されている方のお話で、大変身近に感じられました
(文責 Y.O)

6月の「1の日行動」

多くの五輪反対署名、感謝します！

世界の新型コロナの日々の感染者は30万、死者は7千人と依然蔓延が続いています。そんな中で五輪を開催し、海外から9万人もの選手・関係者を入国させれば、いくら水際対策を徹底しても、無症状が大半のコロナであれば「変異株の祭典」になりかねません。そして、五輪後、各国への変異株拡散が危惧されます。菅首相は「安全・安心」を繰り返しますが、安全・安心だという専門家は御用学者にも一人もいません。医療が逼迫する中で強行すれば、五輪に相当の医療資源が割かれ、救える命も救えなくなります。

国民の大多数が不安を感じるのになぜ、IOCと日本政府は五輪を強行するのでしょうか？米国パシフィック大学ボイコフ教授によれば、一にも二にも「金」、つまり巨額の五輪利権だそうです。「分かっちゃいるけどやめられない」「もう、どうにも止まらない！」

西神NT9条の会でも宇都宮弁護士の五輪強行反対キャンペーンに呼応し、6月の「1の日行動」で署名活動を行いました。その結果、多数のネット署名に加え、50名を越す直筆署名も戴き、心より感謝しております。なお、今回は手続き上、直筆署名はネット署名としてはカウントされませんでした。賛同表明者として宇都宮事務所にお届け致しました。お詫び方々、ご報告申し上げます。

(竹の台 西元)

ジョー旬

「出かけるな」と言った首相の客集め (G7)
大げんか 今日の弁当 空だった (骨歩)
neginokai9@yahoo.co.jp
に投稿お待ちしております。



東京五輪の開催中止を求める署名-宇都宮けんじ公式サイトにリンク

2021年7月発行：西神ニュータウン9条の会

[HP] <http://www.ne.jp/asahi/seishin/9jyonokai>

[連絡先] TEL 090-3359-0776 (大西)



HPにリンク

8月15日に
寄せて

私は、相次ぐ戦争の真っ只中、昭和9年（1934年）に大阪市西区の江戸堀に生まれ、8人兄弟の4番目で次男です。

昭和16年に国民学校が誕生し、私たちはその第I期生です。そこには修身という科目があり、忠君愛国の思想が徹底的に叩き込まれます。特に「教育勅語」が重視され、皆が暗記させられました。その教えは「親に孝行、すべての国民の親である天皇陛下の御為には命を捧げて戦え」でした。

昭和16年12月8日、大日本帝国はアメリカに宣戦布告、ハワイの真珠湾に米国太平洋艦隊をせん滅する大戦果をあげました。軍艦マーチとともに始まる大本営発表に日本国民全てが歓喜し、大東亜戦争の勝利を確信し、大東亜共栄圏の確立のため、新たな戦争に向かいました。

徴兵基準が強化され、若い男の人は皆な出征していなくなりました。この年には私の兄が中学3年生で志願して予科練（海軍航空隊予科練習生）に入隊しました。「一億総兵士」です。

昭和19年、4年生になった時、学童疎開が実施され、私は母と兄弟6人で生駒山の西麓にある枚岡町に縁故疎開しました。この頃には、私は完全に軍国少年になっていて、天皇陛下に命を捧げて戦うため、海軍兵学校入学を決意しています。

戦局はさらに悪化し、山本五十六元帥の戦死、アッツ島の玉砕まで負け戦さばかりです。

昭和20年3月13日の深夜、大阪大空襲がありました。B29による焼夷弾大量投下で、父や姉、祖母がいる我が家は跡形もなく焼け尽くされました。大阪が全面火の海となる恐ろしい光景を見て震え上がったことは、いつまでたっても忘れられません。

4月には5年生となり、勝ち目が全くない中、本土決戦が唱えられ、とうとう「一億玉砕」となってしまうしました。

8月15日、天皇陛下の玉音放送があり、長い戦争が終わりました。

靖国神社参拝や韓国や北朝鮮への強圧的な態度、森友学園の幼稚園児の教育勅語を見るにつけ、さらに「一億総活躍」ときた時には、まさに80年前の大日本帝国に逆もどりした気配にぞっとしています。

（春日台 小林 清二）

●8月22日(日) 8月のつどい 「戦争体験を聞く会」

西区文化センター2階第3会議室

14:00~16:00 参加費 300円

「私のなかの戦争」第2集に体験をお寄せ下さった川端泰子さんをはじめ数人の方にお話を聞きます。

くわしくはチラシをご覧ください。



●9月19日(日) 9月のつどい 「地方自治の現状と課題」(仮題)

お話 岡田裕行さん

(兵庫県自治体問題研究所)

西区文化センター2階第3会議室

14:00~16:00 参加費 300円

コロナ禍で不安になった命と暮らし等
ざっくばらんにお話しませんか。

Act Now 1(イチ)の日行動 あなたもご参加を!

★毎月一回、西神中央駅前「改憲No! 九条壊すな!」のアピール行動を続けています。

★ 次回は9月1日(水) 16:00~17:00の予定 (コロナ感染状況で変更もあります)

私とオリンピック

とうとうオリンピックが始まった。
大半の国民の中止・延期の声を無視して。

1956年、中学1年の時、「ウワーウワー」という波の音のようなラジオのアナウンサーの声、メルボルンから山中毅の水泳競技の実況に耳を傾けていた。

1964年東京オリンピック。1945年8月6日、広島原爆投下の日に生まれた広島の青年が聖火台に立った。平和とオリンピックが近づいた。

そして、1996年、アメリカ・アトランタの聖火台にモハメド・アリが立った。アリはベトナム戦争のさなか、徴兵を拒否して、チャンピオンを剥奪され、禁固5年の判決を受けた。平和と人種差別とオリンピックがつながった。
オリンピック憲章

オリンピック憲章は、人間の尊厳保持、平和社会の促進、いかなる差別も排除して、友情・連帯・フェアプレー精神を謳っている、まさに日本国憲法と同じ精神だ。

にもかかわらず、日本、世界の人たちの生命が危ぶまれている中で、しかも、一部の政治家の権力保持のために利用され、どんなに不祥事が起きようとも強引に開いていった。

メディアは金メダル一色だ。私たちは浮かれることなく、アスリートたちのフェアプレー精神をたたえるとともに、このオリンピックの背景を忘れないでおこう。

最後に、東京新聞記者望月衣塑子の言葉を紹介いたします。

「五輪で日本人選手がメダルを何個取ろうとも、菅政権が国民の命を軽んじた事実を、私たちは決して忘れないでおこう。少なくとも秋の衆院選までは」
(たけし)

7月のつどい

「一から分かる国民投票法」(報告)

7月11日、25名の参加で開催されました。講師は吉江仁子弁護士。今回の講演は6月に「国民投票法」が改定されたのを受け、その問題点を理解するために行われました。国民投票法は、憲法改正を実施するための手続法ですが、従来より兵庫県弁護士会などが「重要な点で欠陥があり、今回の改訂でも抜本的な見直しがされていない」と指摘しています。

吉江弁護士が問題点として強調されたのは

- (1) 憲法改正の条文ごとの賛否の意思表示が必要(例一自民党改憲4項目それぞれで)
- (2) 国民投票広報協議会の構成は、賛成、反対の同数選任とする(議員数で配分)
- (3) 発議から国民投票までの期間を180日以上とする(60-180日以内)
- (4) 公費による意見広告は公平、中立、客観性が担保されるものとする
- (5) 最低投票率を定める(有効投票数の過半)

最後に吉江弁護士は、憲法を守る運動について「3-4割を占める中立層への働きかけを強めることで国民投票法の発議に慎重となる世論を形成することが大切」だと指摘されました。
(文責 Y.O.)

ジョー旬

無観客 選手ばかりの 蝉しぐれ (現妻)

鱧の夏 身はいずこにて 皮ばかり (骨步)

neginokai9@yahoo.co.jp

に投稿お待ちしております。

2021年8月 発行：西神ニュータウン9条の会

[HP] <http://www.ne.jp/asahi/seishin/9jyonokai>

[連絡先] TEL 090-3359-0776 (大西)



HPにリンク

命の選別

デルタ株の向こうには？

今から約30年前、私が三木市の公立病院で心臓外科を担当していた時、88歳の女性が心肺停止で救急搬送されてきました。電気ショック（AED）で心拍が再開したため、当時では少数例にしか使われていなかった人工心肺のエクモを装着しました。（今、コロナ患者さんの重症例に使われています）心停止の原因が心筋梗塞でしたので、

エクモから離脱するには心臓のバイパス手術で心臓を生き返らせなければならない、結果は10時間に及ぶ手術、そして4週間の集中治療室管理を経て、患者さんは独歩で退院されたのです。でもその後、認知症が出現し数か月後に亡くなりました。本来ならば大往生のところ、医療がかえってその方を苦しめたのではないかと？でも心臓外科医としての選択肢は救命しかなかったのです。その後阪神淡路大震災が発生、神戸市内の多くの病院は機能不全になり、救急隊・医療現場では助かる見込みのない方は受け入れない、いわゆるトリアージという命の選別が行われました。三木市の病院にも次から次へと神戸市から救急搬送されてきました。

さて今のコロナ禍、すでに医療崩壊が始まっています。在宅で療養されている方が10万人近くおられるようです。ここでも、軽症・中等症・重症と選別が行われ、重症でしか入院できなくなっているところも多くなっています。

私が今でも心のトラウマになっているケースがあります。やはり、三木市の病院で心臓バイパス手術をさせて頂いた方、手術は順調、術後造影ではバイパス開存、数日後に退院の予定でした。ある朝病室を掃除されている方が慌ててナースステーションに駆け込み、「患者さんの息が止まっている」と。管理の充実している病院内でもこんなことが起こるのです。だから命というのは一寸先もわからない、インド株という強いウィルスに感染している方に重症も中等症もないのです。

最後に現在2類感染症の新型コロナウイルスを5類感染症にダウングレードさせようという議論があります。すなわち、季節性インフルエンザのように保健所を介さずに町のクリニックが検査・治療できるようにするというものです。しかし治療薬が確立していない、しかもインド株がもっと強いウィルスに変異する可能性もある中、時期的に適切とは思えないのです。むしろGOTOキャンペーンとかで人々の意識が普通の風邪の感じになびいている時にしっかり議論すべきだったと思います。確かに軽症時にクリニックで治療して重症化を防げば、病床の逼迫が解消されるメリットはあるかもしれませんが、でも当院には心・肺の基礎疾患を持つ外来及び在宅患者さんが多い。2回ワクチン接種を受けている私でも人にうつす可能性がある。だから今来て下さっている大切な方々を守るために、発熱外来に積極的になれないのです。とはいっても、COVID-19の制圧にお役に立ちたいのはやまやまです。

皆様におかれましても、どうかご自愛下さいますようにお祈り申し上げます。

（医療法人社団健裕会 中村医院 院長 中村宏臣）

お知らせ

● 9月19日(日) 9月のつどい

「今 地方自治はどうなっているのか」

講師 岡田裕行さん

西区文化センター2階第3会議室 14時～

参加費 300円（学生さん無料）

※詳しくはチラシをご覧ください

● 10月のつどい はありません

● 11月21日(日) 11月のつどい

西区文化センター2階第3会議室（内容は未定）

Act Now 1(イ千)の日行動 あなたもご参加を！

★毎月一回、西神中央駅前「改憲 No! 九条壊すな！」のアピール行動を続けています。

★ 次回は 10月1日(金) 16:00～17:00の予定（コロナ感染状況で変更もあります）

“西区演劇コミュニティ”と

8月例会「命どう宝」

2008年6月に西神ニュータウン地域で演劇等の話し合いができる場を作ろうと始まったのが、「文化よもやま話の会」。会場は亡画家 Y さんのアトリエ“一輪車”。神戸演劇鑑賞会の例会後、数名で集まっていました。その後、喫茶店や間隔の取れる各プラザの集会所等に代わり、今では参加者も10名近くで、西区全体の場になりました。

演劇鑑賞会の8月例会は、平和や戦争のことを取り上げており、今年は、沖縄の戦後を描いた「命どう宝」の劇でした。創立75周年を迎えた劇団文化座の公演です。主人公は米軍占領下の沖縄・伊江島で土地接收に抵抗した阿波根昌鴻氏と反基地運動の先頭に立った政治家・瀬長亀次郎氏。

瀬長氏の「不屈」の闘いは記録映画等で知っていました。農民の阿波根氏の「非暴力」で地道に米軍に立ち向かっていく姿や言葉に、辺野古や高江の闘いを続けている今の沖縄の人たちに重なるものを感じました。

(竹の台 F. S)

訃報

本田 稔さんが8月1日に亡くなりました。生前のご尽力に感謝し、心からお悼み申し上げます。(運営委員)

わが家のエネルギー対策

先日、朝日新聞に長崎県の「五島市民電力」の記事が載っていました。この会社は風力や太陽光でつくる再生可能エネルギーで五島市の電気需要の約4割を担っています。さらに洋上に風力発電機8基を新設し8割の需要を賄う計画で、エネルギーの地産地消をめざしています。地元の会社では、水産品の加工にこの電力を使いブランド力を高める取り組みも進んでいます。

わが家では、2012年にソーラーを設置し約9年が経ちます。暑い日も寒い日も晴れてさえいれば、一言の文句も言わずに発電する働き者です。2020年は、発電量が年間約5000kwh。その内、売却は4000、夜間などの購入は2500、総消費量は3500で電気の自給率は160%でした。また電気の購入先も原発比率の高い関電から再生エネルギー率の高いCO-OPでんきに切り替えました。また照明も大半をLEDに交換しました。

今年の夏も全国で大雨が降り、世界では50度近い猛暑も記録されています。温暖化の深刻な影響が地球規模で頻発しています。気候変動は、ひとびとのいのちと暮らしを危機に陥れています。

わが家のソーラーは、来年10年目をむかえ固定価格の買取が終了します。ささやかな小遣いが、なくなるのは寂しいですが屋根を見

上げると夏空に懸命に発電する姿はありがたいと思うこの頃です。(春日台 Y. O)



五島市民電力の電気で作る電気自動車

2021年9月発行：西神ニュータウン9条の会

〔HP〕 <http://www.ne.jp/asahi/seishin/9jyonokai>

〔連絡先〕 TEL 090-3359-0776 (大西)



HPにリンク

選挙に行こう!! 平和憲法を守ろう!

音楽家の池辺晋一郎さんの話を聞く機会がありました。

西神ニュータウン9条の会でも4年前に「10周年のつどい」で講演していただきましたが、音楽はもちろん、トークが実におもしろい。先日、松方ホールで開催された「全国自治体のうたごえ祭典 in 神戸」のトークでは、平和に対する熱い思いを語る中で、「あなたたちは兵庫県民ですね。あなた達に期待します。何故なら、『スローガン』県にお住まいです。平和をスローガンにして大きく広げてください。それができる県民です!」と。一瞬?と思いながら、納得と大笑いでした。

ところで、このニュースが配布されるころは、自民党の新総裁が決まり、新首相も決まっているかもしれません。誰が首相になっても、「自民改憲4項目」、具体的には①憲法9条への自衛隊明記、②緊急事態条項創設、③合区解消、④教育の充実の4項目を4人の候補者がそろって推進すると公約しています。そして、国民投票法改定が成立したので、早急に議論を進めていくとしています。

憲法15条では「公務員を選定し、これを罷免することは国民固有の権利である。すべての公務は、全体の奉仕者であって、一部の奉仕者ではない」となっています。しかし、憲法の条文、とりわけ9条ですら、「戦争法」を成立させ、海外での戦闘行為を合法化するなど平和憲法が踏みにじられています。「法廷は天候に左右されないが、時代の空気には左右される」という名言がありますが、私たちの社会運動の強さが法律を実のあるものにするのだと思います。

総選挙が間近に迫り、野党間の協力もこれまでから一歩進んで野党政策合意、政権交代へのプロセスもわかるように努力しています。

私達、「スローガン」県民としては「選挙に行こう! 平和憲法を守ろう!」の声を大きくして、改憲勢力を追い詰めていきましょう。

(竹の台 S)



お知らせ

- 10月のつどいはありません



- 11月21日(日) 11月のつどい 「戦争体験を聞く会」

西区文化センター2階 第3会議室 14:00~16:00 参加費 300円(学生さん無料)

※詳しくはチラシをご覧ください。

- 12月19日(日) 12月のつどい

西区文化センター2階 第3会議室 14:00~16:00 (内容は未定です)

Act Now 1(イ千)の日行動 あなたもご参加を!

★毎月一回、西神中央駅前「改憲No!九条壊すな!」のアピール行動を続けています。

★次回は11月1日(月) 16:00~17:00の予定(コロナ感染状況で変更もあります)

9.13 兵庫憲法集会のプレ集会報告

日本学術会議の問題で、任命を拒否された
芦名定道先生のお話でした。

講演の要約として、政府に任命拒否された
6名について、いまだ理由が示されていない。
菅首相は「総合的、俯瞰的に判断」というだけ。
これは、6名が問題ではなく、「日本学術
会議そのもの」が問題ということではないか。
なぜ、問題にするかといえば、軍事研究を拒
否しているからだ。そもそも、日本学術会議
は、戦前の反省のもと、1950年に軍事研究を
絶対にしないと誓って設立された。

しかし、激動する世界や日本(行政改革・構造
改革・バブル崩壊、リーマンショック・東日
本大震災、コロナ)の中で、軍事や科学技術へ
の一層の注目が寄せられ「軍事研究」が問題
の焦点となってきた。(他にも要因はある)

これからの運動の展望として、平和勢力を
下から構築することを提案。ヨーロッパで広
がるムニシパリズムを紹介された。

ムニシパリズムとは、地方政治を軸にした
草の根の政治改革運動。水道の再公営化運動
など、ヨーロッパで急速に進展しつつある。

なお、当日音声聞き取りにくいところがあ
りましたが、大変興味深いお話でした。

(角屋克子)

兵庫憲法集会は、5月3日
から11月3日に変更され、
会場はメリケンパーク、
メインスピーカーは、
上西克子法政大学教授
です。

ご飯論法

「朝ご飯は食べた？」
「☉は食べていない
(☺は食べたけど)」

ジョー
句

「9月のつどい」報告

「今、地方自治はどうなっているのか」

-コロナ禍で明らかになったことと、

これからを考える-

9月19日、20名の出席で開催されました。講
師は兵庫県自治体問題研究所の岡田裕行さん。

1. コロナ禍の地方自治体の現状

地方自治体では、医療・福祉・雇用などの脆弱
性が顕在化しこの間進められてきた新自由主義
の「効率化」最優先により「公共性」の縮小、後
退が鮮明となった。また国と自治体の関係であ
る団体自治においても自治体独自の対応と国の
指示待ちに頼る対応に二極分解している。

(和歌山、世田谷など)

2. デジタル化と地方自治

政府が進めるデジタル化は、一元的・垂直的な
中央集権的な情報管理であって自治体独自の条
例や行政、住民自治を否定する要因を有してい
る。デジタルの利便性には相互信頼の基礎がな
ければ成立しない。

3. 今後の地方自治

住民が地域で暮らすには、所得と生活支援(医
療・福祉・教育・消費・交通などなど)の機能が
確保されることが必要であり、コロナ対応の失
敗はこれらの「公共性」が失われたことによるも
のである。公共性を担う地方自治・住民自治の回
復こそが重要である。

10月に神戸市長選、11月に衆院選が予定され
ています。地方・住民自治の観点から政党や候補
者の政策を考えてみる機会となります。

文責(大西)

空念仏 唱えるだけなら 俺も出た (総裁選)

秋立ちめ 忘れられたり 温度計 (骨歩)

neginokai9@yahoo.co.jp

に投稿お待ちしております。

2021年10月発行：西神ニュータウン9条の会

(HP) <http://www.ne.jp/asahi/seishin/9jyonokai>

【連絡先】TEL 090-3359-0776(大西)



HPにリンク

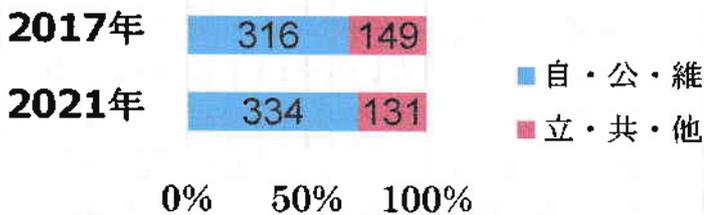
2021 総選挙～9条守る運動はこれからが正念場

10月31日(日)、第49回総選挙が行われました。みなさんはもちろん投票に行かれたと思いますが、前回総選挙から丸4年、安倍・菅政権から岸田内閣に替わってすぐの衆議院選挙でした。自民党はとにもかくにもコロナワクチン接種をすすめ、東京オリンピックをやって、世論が高揚したところを狙って解散・総選挙というシナリオを描いていたようですが、感染爆発、無観客開催のオリンピックと誤算が続き、菅首相の目論見は失敗。メディアが総裁選レースを大々的に報じた後の選挙でした。

投票率と憲法「改正」に焦点を当てると、前回よりはわずかに投票率が向上したものの、相変わらず50%そこそこしかなく、とても「民意を反映した」結果とは言えないと思います。今回も最大の勝者＝マジョリティは投票に行かなかった人たちです。

	投票率	有権者数	棄権者数	(万人)
2012年	52.66%	10,396	4,921	
2017年	53.68%	10,609	4,914	
2021年	55.93%	10,562	4,655	

改憲勢力と護憲勢力



点ですが、必ず改憲論議のタイミングをはかってきます。

そして来年の参議院選挙でさらに三分の二以上をめざし、国民投票法の発議から議論を始めようとするでしょう。国会での議論をさせない、さらに粘り強い運動が求められるのではないのでしょうか？ (美賀多台 川崎)

つどいのお知らせ

- 11月21日(日) 11月のつどい「戦争体験を聞く会」
西区文化センター 2階 第3会議室 14:00～16:00
参加費 300円 (学生さんは無料) ※詳しくはチラシをご覧ください
- 12月19日(日) 12月のつどい「みんなでざっくばらんに語ろう」
西区文化センター 2階 第3会議室 14:00～16:00
参加費 300円 (学生さんは無料)
- 2022年1月16日(日) 1月のつどい「ミャンマーの民主化について」
西区文化センター2階 第3会議室 14:00～16:00
参加費 300円 (学生さんは無料)



Act Now 1(イチ)の日行動 あなたもご参加を!

★毎月一回、西神中央駅前「改憲No!九条壊すな!」のアピール行動を続けています。

★次回は12月1日(水) 16:00～17:00

来年、秋の開館目指して

西神文化芸術ホール

駅前バス停あたりから、屋根が見え始めた「ホール」の工事。駅のステンドグラスの工事も終わり、プレッティ周辺での化粧直しが行われ、来年9月末ごろ供用開始に向けて準備が進んでいる。

(株)シアターワークショップによる第3回「市民参加について考える」も終わった。今年1月にも報告したが、今回も参加者から積極的な意見が寄せられた。具体的な企画、運営に参加したい、チケットのもぎりなどもやりたい、サポートスタッフをぜひ実現してほしいなど参加者のホールへの期待は相変わらず大きい。

一方でホールについて考えてきた人たちで、ホール建設への道筋を聞く、神戸市のお話を聞く場も設けられた(10月20日)。そこで驚いたことに、すでに「西神中央ホール条例」が設けられていた。ホール名も「西神中央ホール」と決まり、ホールと図書館を含む文化施設の愛称も募集されている。また、ホール、リハーサル室、会議室等の使用料金も条例化されていた。また、来年2月ごろからホール予約の受付も開始される。私たちの情報収集能力の弱さが明らかになったが、同時に西区選出の市議にも協力を依頼していたが、何の情報提供もなかった。

供用開始に向けて、この12月に(株)シアターワークショップによる開館準備室が西区文化センター内に設けられてイベント等が企画されていく。これからは「サポートスタッフとしての参加」「事業の企画・推進役としての参加」「事業パートナーとしての参加」などへの要望や、ホール施設の設備等を聞き出し、「西神中央ホール」が西区の人たちによるホール作りを目指していきたい。(たけし)

映画「子どもたちをよろしく」を観て

監督・脚本：隅田靖 企画：寺嶋研・前川喜平

財源はカンパのみで11日間で撮影終了し、口コミで広がる話題作だ。軽佻浮薄でハッピーエンドの作品が多い中、イジメと家庭の問題を抱えた少年洋一の自殺で終わる徹頭徹尾暗い無力感に襲われる作品である。メインは北関東の場末の街に住む二つの家庭。一つの家庭は夫婦再婚同士で夫には中2の稔、妻には18歳の娘優樹菜がいる。最初は上手くいっていたが夫が株で失敗し、酒乱、暴行の果てに優樹菜に性的虐待をするように。母も酒に逃げる。優樹菜は内緒でデリヘル嬢として稼ぐが、それを送迎する運転手が洋一の父だ。この父は妻に逃げられ稼いだ金はギャンブルと酒場の姐さんに消える。洋一は修学旅行や学費も払えず通学路では美咲に煽られた稔たちのグループのイジメにあう。美咲も市長候補の母親に利用されたりで、貧富に関わらず家庭や地域が壊れ、その中で最も多感な時期の子どもたちが傷ついていく。大好きな義姉をいたぶる父をナイフで殺そうとしたが義姉に止められ誤って彼女を刺す稔。そして彼女を優しく介抱する義父。パラドックス的に父と義姉二人は一緒に出ていく。

非現実的なようでこれは全く現実にある世界。私たち一人ひとりや社会全体に突き付けられた深い映画で、子どもたちを託された私たちの課題は大きい。(Heidi)

ジョー 旬

演説の マスクで見えぬ 二枚舌 (現妻)

エビフライ かぶりといったら フライ級 (骨歩)

neginokai9@yahoo.co.jp

に投稿お待ちしております。

2021年11月 発行：西神ニュータウン9条の会

〔HP〕 <http://www.ne.jp/asahi/seishin/9jyonokai>

〔連絡先〕 TEL 090-3359-0776 (大西)



HP にリンク

2022年にむけて

11月19日神戸新聞夕刊の一面は大谷将平君のMVP受賞一色だった。コロナ禍に覆われた2021年。明るいニュースがない中での記事だったのであろう。この1年、連日コロナの報道がなされ、政治の分野では菅内閣が崩壊し、総選挙が行われた。

11月10日の西神9条運営委員会で、11月3日の憲法集会での法政大学の西西充子教授の講演（2面に報告あり）の趣旨を聞いた。それは、市民運動の有り様への提言で「言いたいことより、聞きたいことを言え」だった。私たちはこの提言を真剣に受け止めなければならないと感じた。

総選挙後、メディアはさかんに野党共闘失敗論を報じた。私たちも立憲民主党や共産党の議席の軽減でそう感じていた。しかし、よくよく分析し、考えてみると議席は減ったものの、市民が関わった野党共闘は各地で多くの成功例を生み出していた。野党と市民の共闘はいっそう輝きを作り出していかなければならない。維新、国民民主党は選挙後、憲法改正への発言を加速させている。とりわけ、維新の松井代表は来年の参院選挙で憲法改正の国民投票をとまで述べている。自公プラス維新、国民民主を加えれば改憲派議員は3分の2を超えてきている。私たちはこうした新たな政治状況をどうとらえ、これからどういう運動をしていけばいいのだろうか。

上西先生の提言に戻ろう。「言いたいことより」は何なんだろう。私たち運動体は、「自分たちの主張、言っていることは正しい」だから「言いたいことを」市民に強く訴えていこう、しかし、それがどれほど市民の心の中に浸みこんでいるのだろうか。一方で「聞きたいことを言え」は何なんだろう。それは、市民がこの時代や社会で何を感じ悩み、何を言いたいのか、それを聞く耳を持つような運動が必要だと先生は述べているのではないだろうか。つまり、いっそう市民に溶け込め、ではないだろうか。この新たな情勢下、「聞きたいことを言え」で、若者たちをはじめ、まだまだ平和や憲法への無関心な人たちとの市民運動を地道にすすめていくことが求められている。

市民運動は、3・11東日本大震災、福島原発事故、そして安保法制改悪以降、新しい民主主義運動として発展してきているといわれている。コロナ禍660日、「日本国内では数値を中心とした報道が繰り返されている中、人の物語として報道され始めた」。ある看護師は涙ながらに「人間らしい最期って何…最期に黒い袋に入れられることが、その人らしい最期なのかな」と「袋に入ってもそこにいるのは患者さん」と人間の物語が伝わり始めた。市民運動は人間の物語として、命や人間が住む地球の問題へと広がってきている。私は上西先生が提起された私たちの運動を検証しつつ、長崎大学の山本太郎教授が言われた「パンデミックは社会変革の先駆けとなる」そんな時代になっていくことを願っている。

(竹の台 たけし)

つどいのお知らせ

●12月19日(日) 12月のつどい「みんなでざっくばらんに語ろう」

西区文化センター 2階 第3会議室 14:00~16:00

参加費 300円 (学生さんは無料) ※ 詳しくはチラシをご覧ください

●2022年1月16日(日) 1月のつどい「ミャンマーの民主化について」

西区文化センター2階 第3会議室 14:00~16:00

参加費 300円 (学生さんは無料)

●2022年2月20日(日) 年次総会

西区文化センター2階 第3会議室 14:00~16:00



Act Now 1(イ千)の日行動 あなたもご参加を!

★毎月一回、西神中央駅前「改憲 No! 九条壊すな!」のアピール行動を続けています。

★ 次回は 2022年1月10日(月) 16:00~17:00

戦争させない、9条壊すな！

11.3 兵庫憲法集会に参加して

集会は神戸メリケンパークで開催され、当会もこれに参加しました。「淡路めニセター」の沖縄民謡の演奏から始まり、法政大学教授の上西充子さんの講演がありました。

10月31日投票の衆議院選挙結果が、残念ながら憲法9条を守る勢力の後退だったため、心なしか静かな講演のように感じました。しかし、今後の私たちの憲法を守る運動への貴重なアドバイスを含んだ内容でした。

特に私にとって憲法12条の「国民の不断の努力」の内容は新鮮でした。12条には「この憲法が国民に保障する自由及び権利は、国民の不断の努力によって、これを保持しなければならない。…略」とあります。先生は自分の努力に加えて新しい人に参加してもらう努力を強調されましたが、わが身に照らしてみると他人への訴えの努力が足りないことに反省させられました。そう思っていると、先生は、「声をかけない洋服屋さん」（女性にとって嫌なことのアンケートで有名になった言葉）の例を出され、アピールを発信する側の押し付けではなく、相手方が自然に関心を持ってもらうように工夫すること。そして、若い人の関心を政治に結びつける必要性を訴えました。

改憲勢力が3分の2以上になった今、自・公と維新を中心に来年の夏の参議院選挙に向け、憲法改悪の具体的な動きを強めています。上西先生の言葉を受け、改憲を許さない運動を強めるために頑張りたいと思っています。

（竹の台 島田）

「戦争体験を聞く会」を開催

当会では、昨年12月「私の中の戦争体験集」第2集を発刊しました。11月のつどいは投稿された4人の方々から戦争体験を直接聞く会となりました。（4人の生年は昭和9-13年、終戦時は7-11才でした）

春日台のkaさんは、S20年須磨で2度の空襲にあい転居、学童疎開で家族はバラバラに。友達や近所の人亡くなるのを目の当たりしています。後に叔父がボルネオで特攻死したのを知りました。戦争は勢いで始まり止めるのは難しいものです。美賀多台のkさんは、小学校に入学してから天皇の写真の前で教育勅語を聞き終戦直後には教科書の黒塗り作業をした事を覚えています。戦争の原因を知るにつけ天皇の戦争責任を許せない思いが募りました。伊川谷のsさんは、教師だった父をS20年ルソンで亡くしました。復員兵が帰国する頃には父は必ず帰って来ると待ちわびていましたが帰ったのは、名前が記された一枚の紙が入った白木の箱でした。戦後の食糧難を母娘で耐え忍びました。大学に通う頃に目にした共産党のピラで戦争反対を主張していた人がいた事を知り、それ以来平和運動に関わるようになりました。春日台のkoさんは、学校で「一億一心」を叩き込まれ最後には「一億玉砕」となりました。人の命を粗末にした世を生きてきた私には9条の戦争放棄は誠にありがたいものです。

参加者からは、「多くの国民がなぜ戦争に駆り立てられたのか」、「皇民教育がなされ政府、軍、報道も真実を伝えなかった」等の意見が出されました。戦争の悲惨さその後の過酷な生活の体験は、過去のものであるだけでなく現在や子や孫の次世代にも地続きに繋がっているのを実感した機会となりました。参加者28名。

父よ母 さけぶひめゆり 平和の地 (田)
 煤(すす)払い あったはずだよ あのマスク(現妻)
neginokai9@yahoo.co.jp
 に投稿お待ちしております。

ジョーウ

2021年12月発行：西神ニュータウン9条の会

〔HP〕 <http://www.ne.jp/asahi/seishin/9jyonokai>

〔連絡先〕 TEL 090-3359-0776 (大西)



HPにリンク